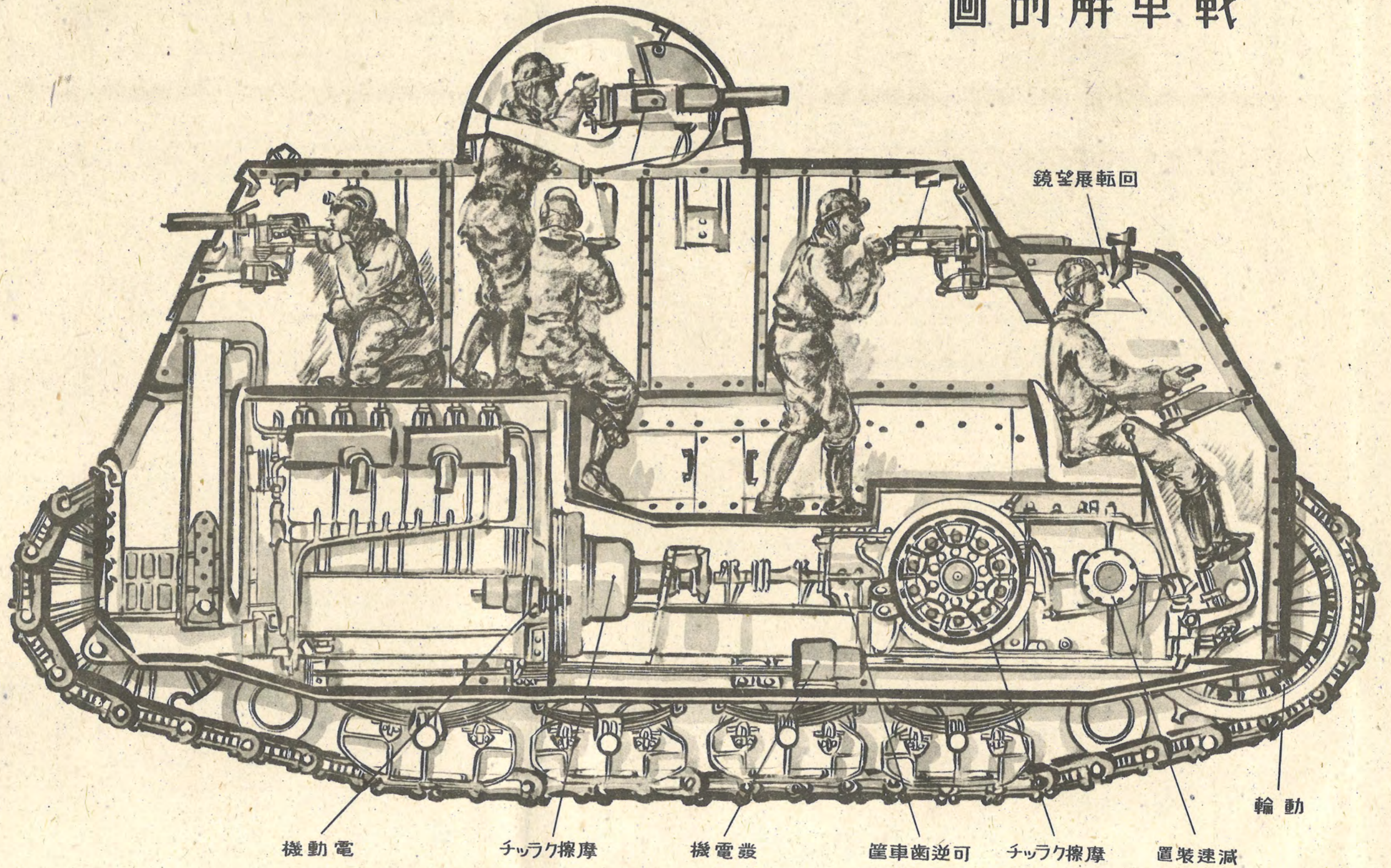


戰車解剖圖

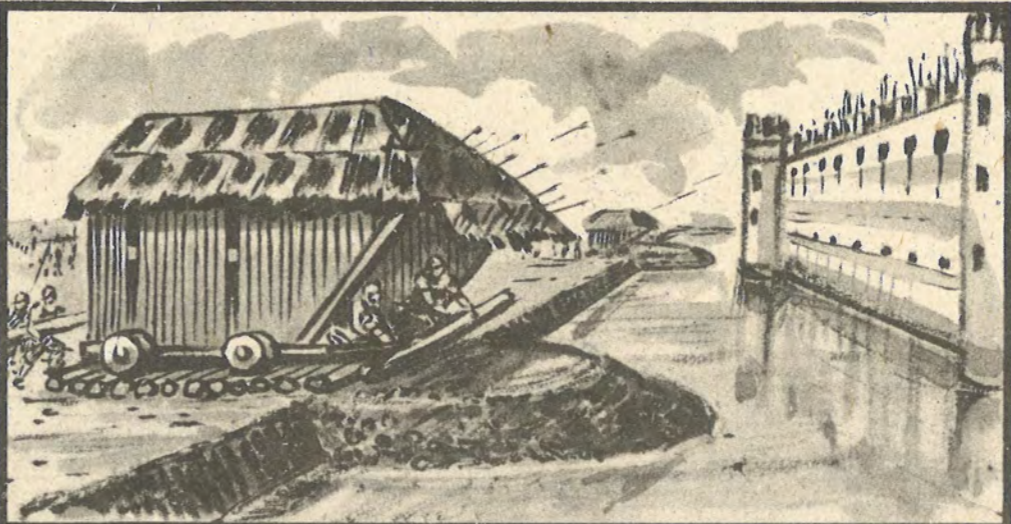


進云

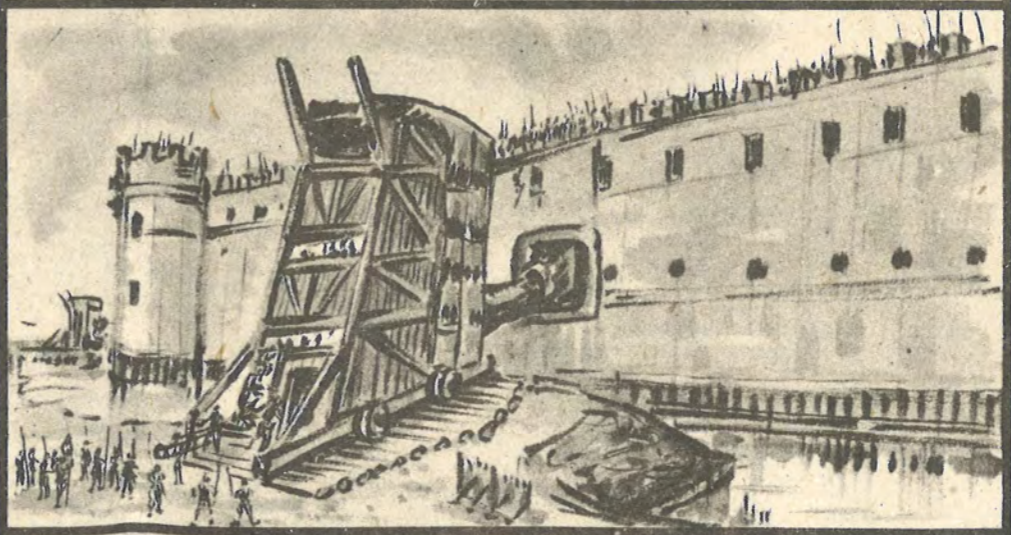
現代戦車の現るはこれである

揭示用

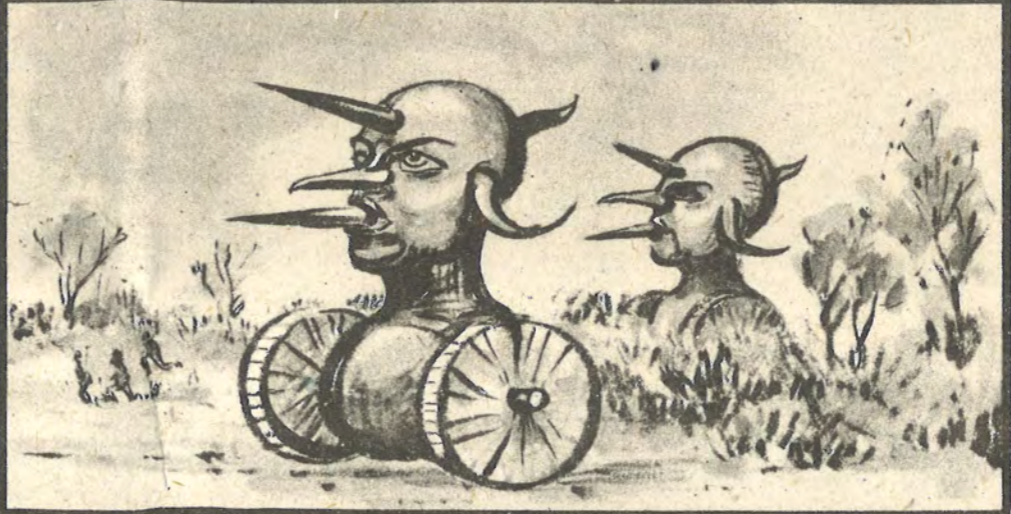
見やすい所にお貼り下さい



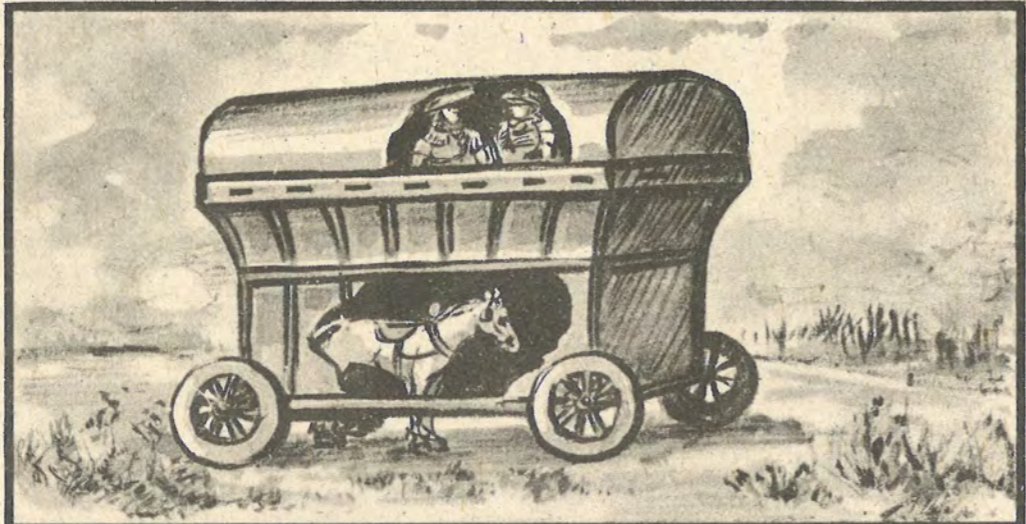
① 西暦紀元前八六〇年頃考へられた移動城塞車。攻撃をさけつつ工兵が作業をおこなふ。



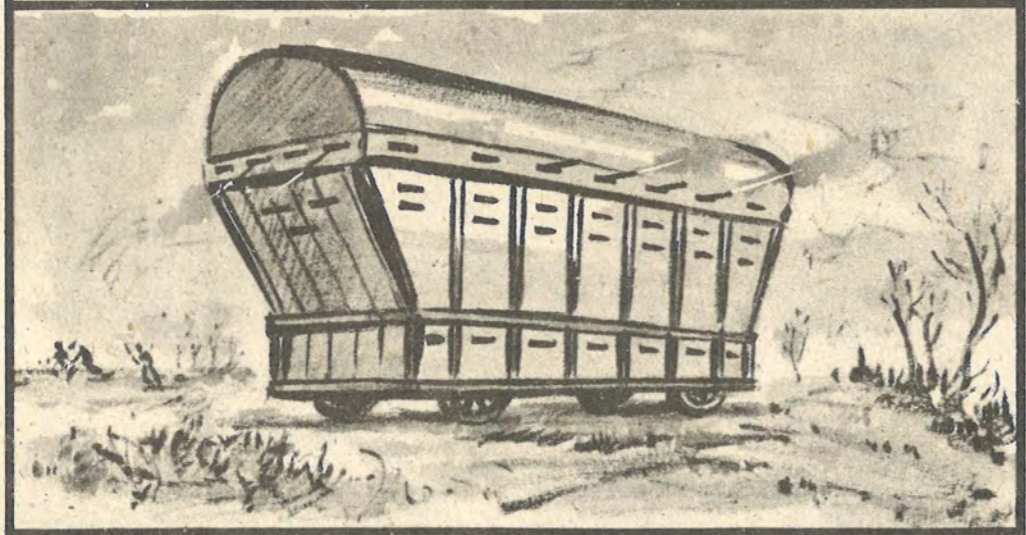
② 同紀元四五〇年頃用ひられた車輪付移動塔。敵の城塞に近づくとき武装兵がとびだす。



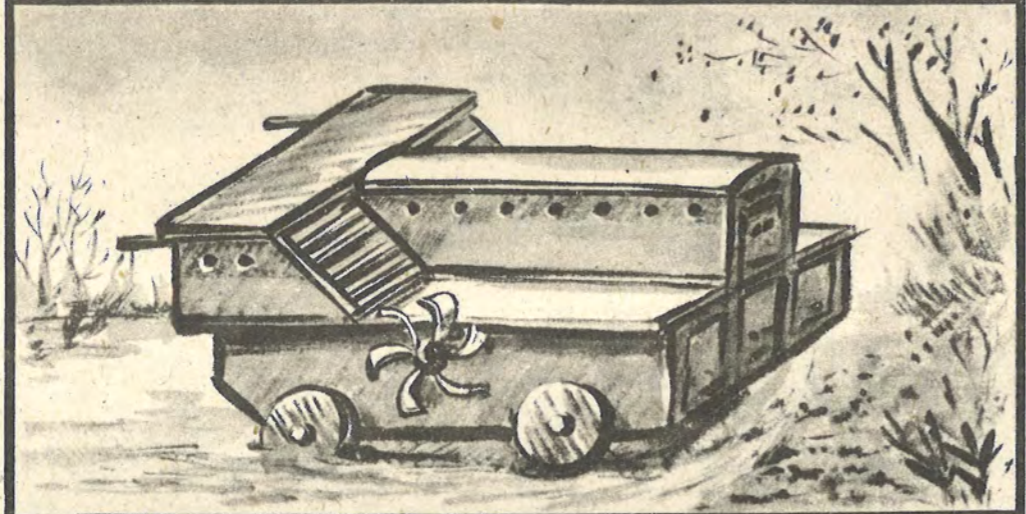
③ 紀元二〇〇年頃の二輪戦車。中世紀人が非常にこわがつたといふ。



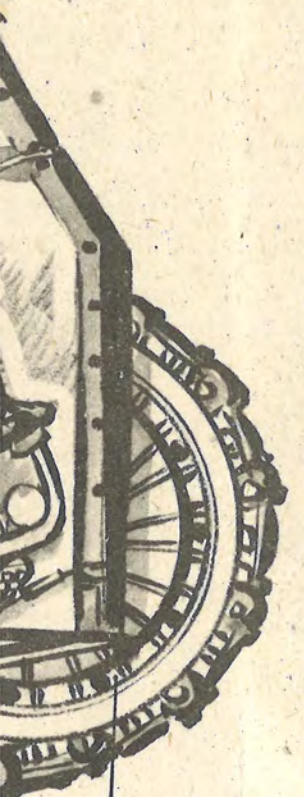
⑦ 一五三八年イギリスのヘンリー八世時代の二階造り戦車。英佛戦に大いにつかはれた。



⑧ 一五四〇年同ヘンリー八世時代英國でつくられた多くの銃眼をもつ戦車。



⑨ 一五八八年 イタリア人アゴステイノ・ラメルリが設計した水陸兩用戦車。

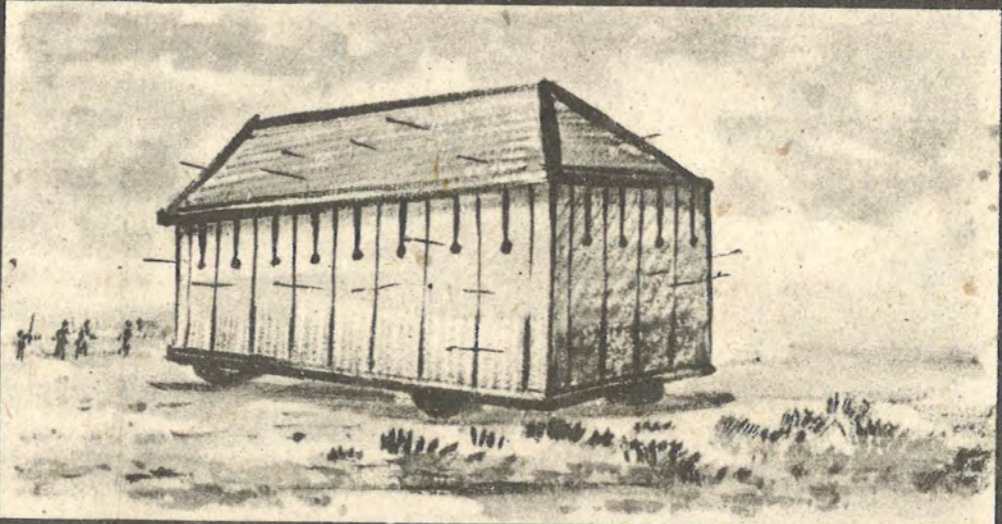


輪動

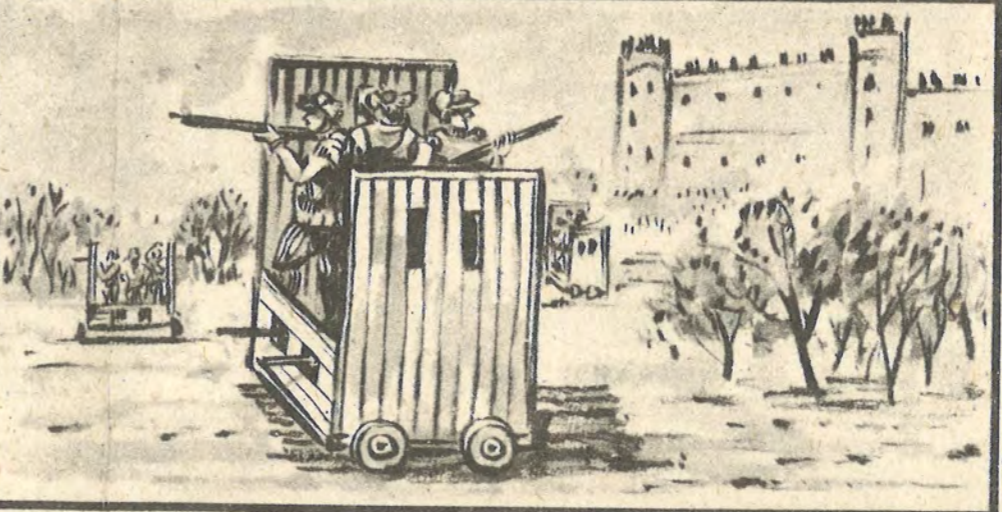
減



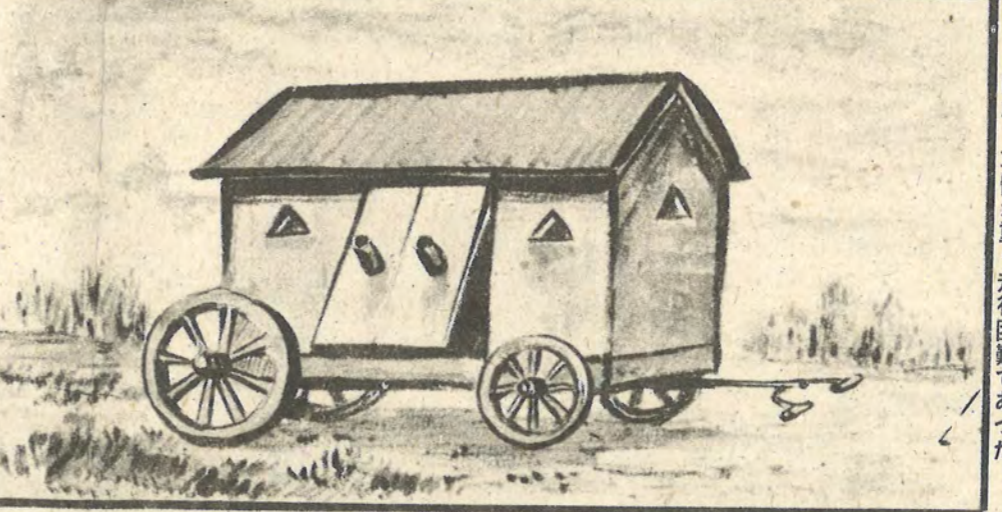
④ 一三〇〇年頃の二輪戦車。中世紀人が
作りにわがたといふ。



④ 紀元一四二〇年設計の家屋塔載密閉式戦車。
面積二〇エーカーといはれる。



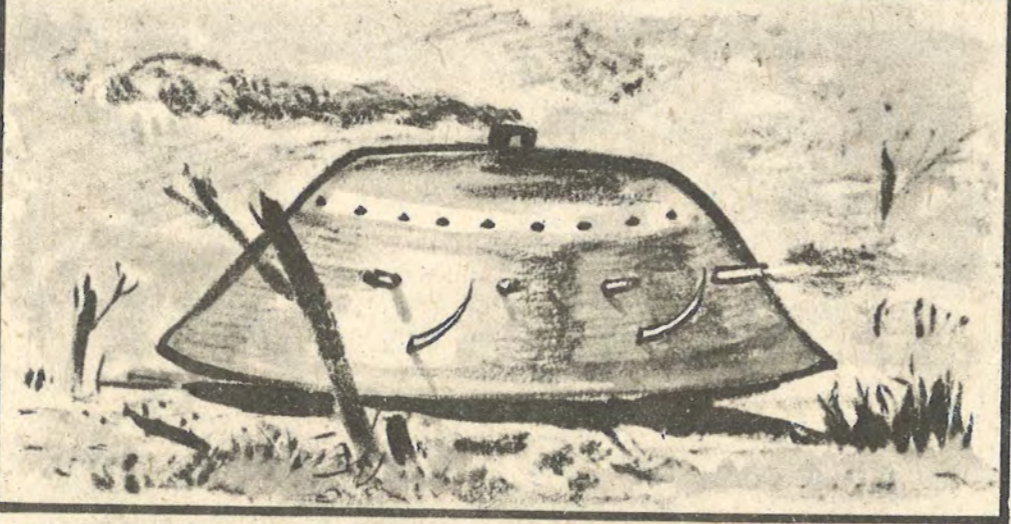
⑤ 一五三二年の戦車。この頃から武器の弓矢
が銃砲にかはつた。人力で動かしたものだ。



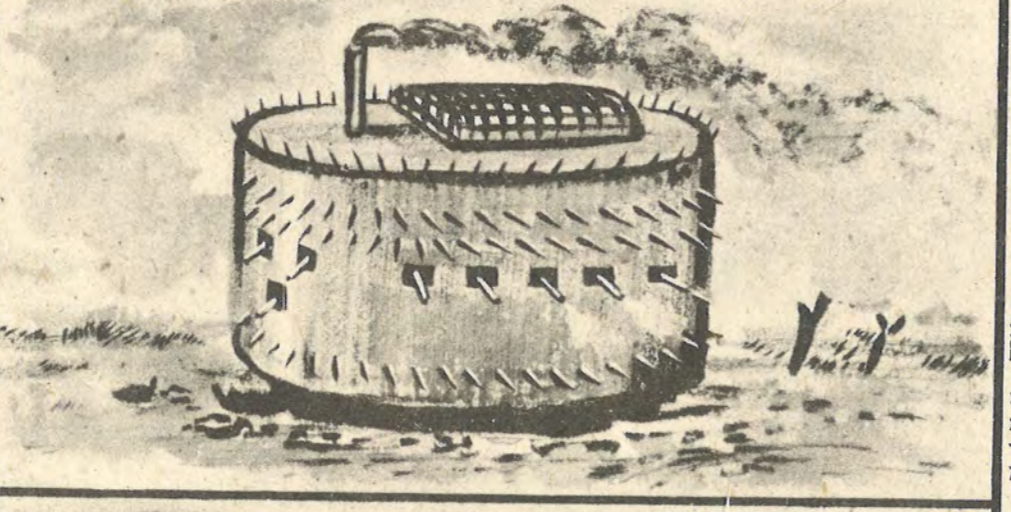
⑥ 一五三五年ドイツにあらはれた軽砲をもつ
た戦車。車体が重く走行困難であつた。



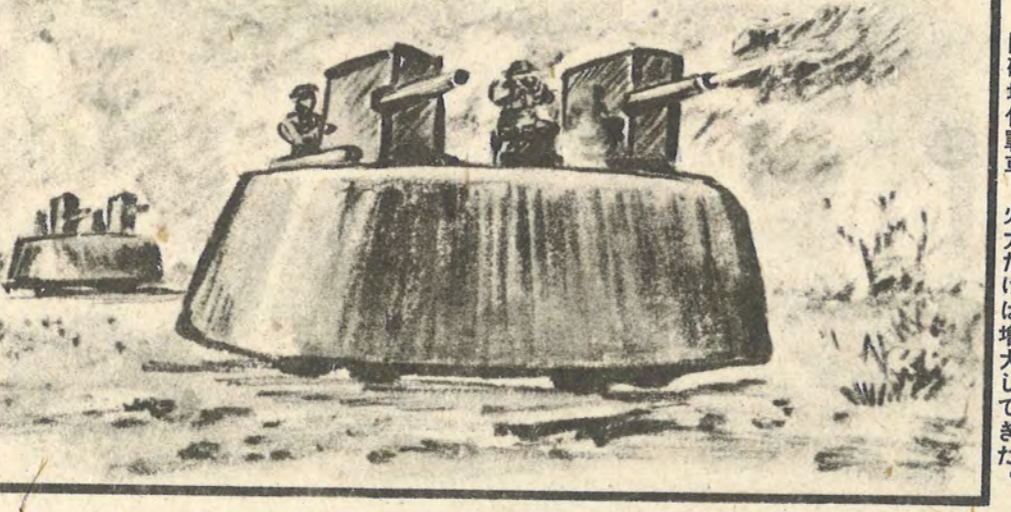
八八年 イタリア人アゴステイノ・
ルリが設計した水陸兩用戦車。



⑩ 一八八五年英國の特許になつた蒸氣機關付
戦車。ワットの改良を應用したもの。



⑪ 一八九七年ドイツの發明家が設計した陸上
戦艦。運動がのろくあまり活躍しなかつた。



⑫ 一九〇二年英國人ベニントンが設計した旋
回砲塔付戦車。火力だけは増大してきた。

⑬ 一九〇三年英國で考案されたもの。やはり
火力の割に走行が不自由で問題となつた。

⑭ 一九〇四年おなじく英國にできたもの。試
作されただけで戦闘には用ひられなかつた。

⑮ 一九〇五年ドイツで考案された偵察用裝甲
自動車。實戦の成績は思はしくなかつた。



機動電

チツラク擦摩

機電發

筐車齒逆可

チツラク擦摩

置裝速減

進

陸軍省 後援 文部省

國防科學 雜誌

機械化

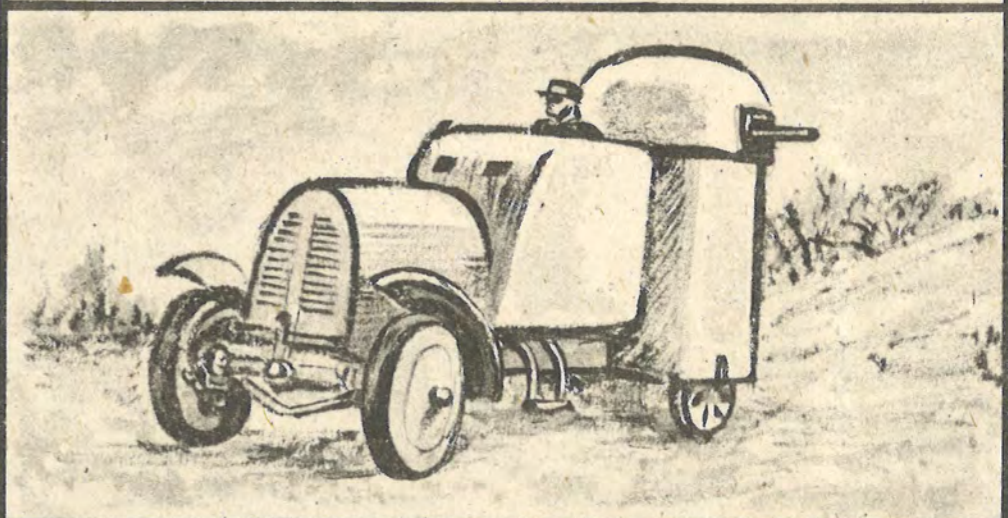
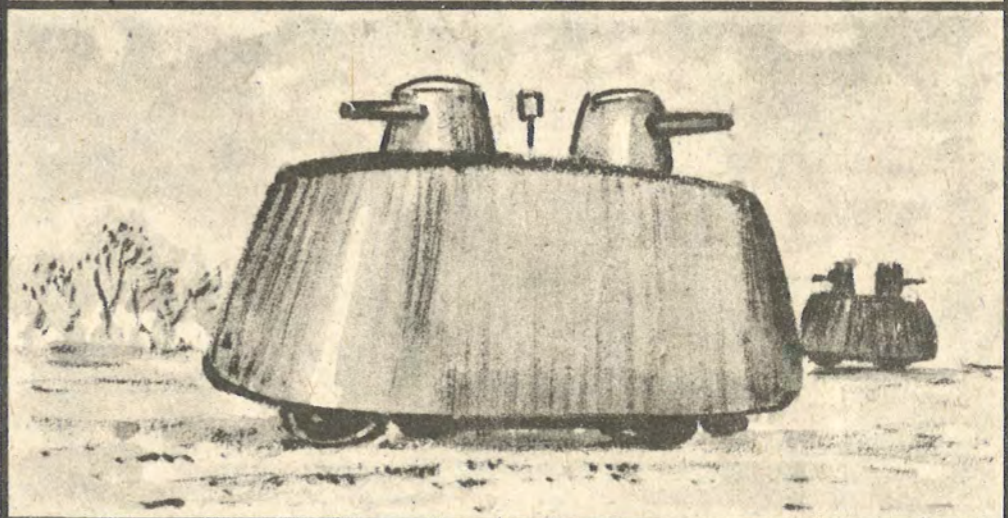
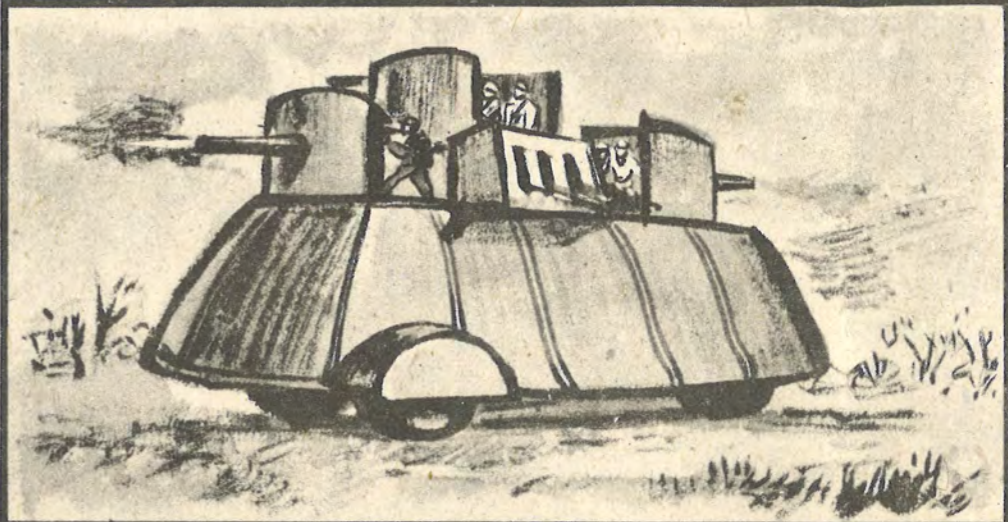
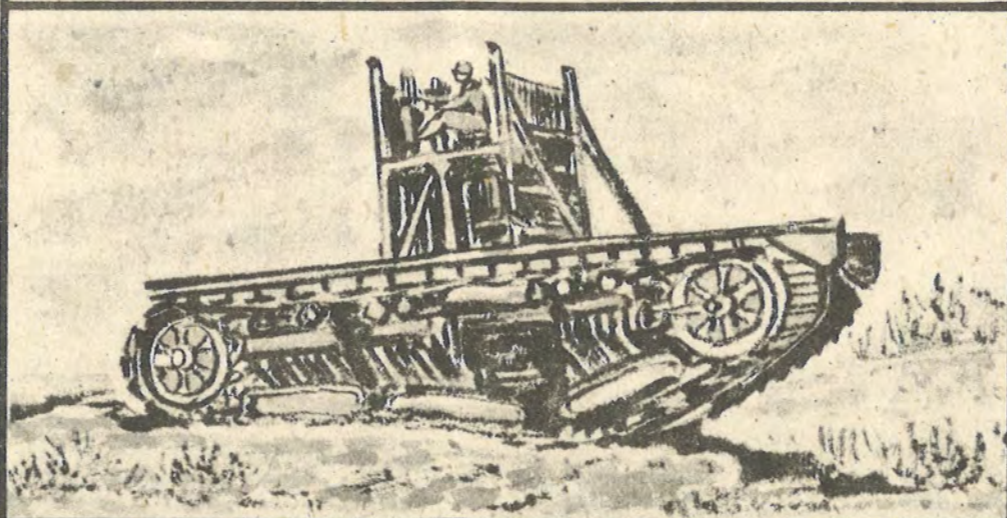
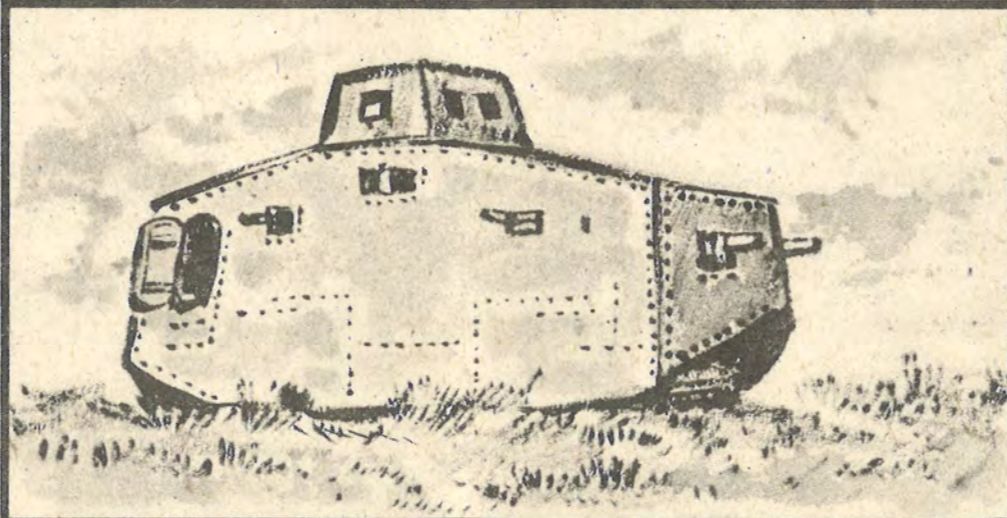
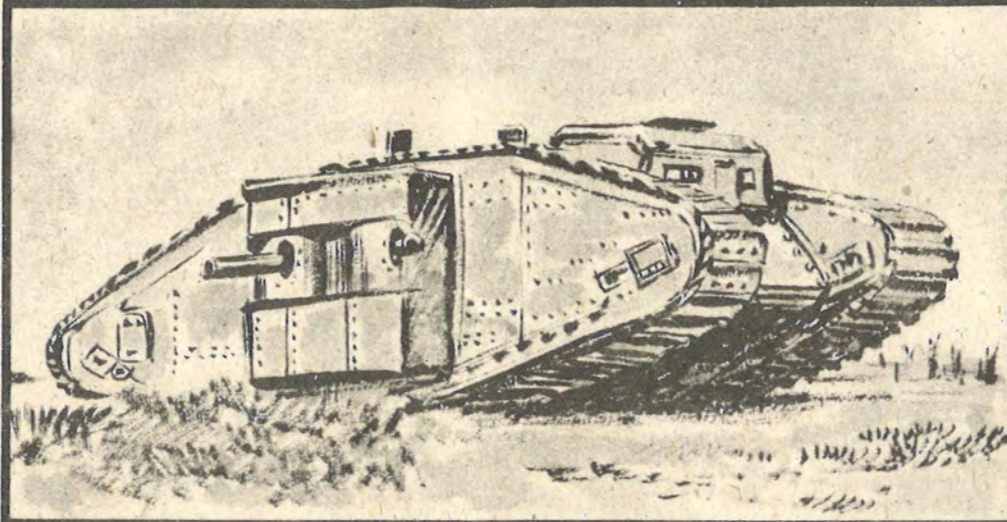
財團 機械化國防協會 主宰
東京 神山 出版部 發行

現代戦車の現はれるまで

戦車が實戦に登場したのは、前歐洲大戦からであることは誰でも知つてゐるにちがひない。しかし實際はこの戦車の歴史はかなりふるく、すでに西曆紀元前數世紀から車輛が軍用につかはれてゐたのである。

戦線において、こちらの體をかくして、敵の軍隊や城塞に接近しようといふ考へは、萬人共通のものであつたからだ。しかし何といつても古代の戦争は單純であつたから、現代科學を總動員した今日の戦車とはおのづから構造もことなつて、簡單なものであつた。

いままでになつた。そして十八世紀末になつてジェームス・ワットが蒸氣機關を改良し、その利用を考へつくまでには、いかなる動力を機關にしようかと、なやみぬいたのである。



⑬ 一九一六年英國でつくられ、はじめて無限軌道をつかつた最初の近代式戦車。

⑭ 一九一七年三月ドイツで完成したA7V型戦車。無限軌道は防彈鋼板の内側にある。

⑮ 一九一八年秋ドイツが試作した一〇〇馬力ガソリン機關二台をそなへた戦車。

⑯ 一九〇三年英國で考案されたもの。やはり火力の割に走行が不自由で問題となつた。

⑰ 一九〇四年おなじく英國にできたもの。試作されただけで戦闘には用ひられなかつた。

⑱ 一九〇五年ドイツで考案された偵察用装甲自動車。實戦の成績は思はしくなかつた。